

国交省ポータルサイト紹介

国交省
『労務費に関する基準ポータルサイト』へアクセス

労務費に関する基準ポータルサイト

労務費に関する基準ポータルサイト

下へスクロールすると

基準を踏まえた取引の考え方

労務費に関する基準とは

労務費の基準値

基準を踏まえた取引の考え方

東京部の労務費の基準値

褒章 黄綬褒章

大港 成人 様

協同組合東京鉄筋工事業協会 副理事長
大港鉄筋株式会社 代表取締役

褒章 瑞宝単光章

岩田 毅 様

関西鉄筋工業協同組合
正栄工業株式会社

令和8年 国土交通大臣表彰

山内 賢志 様

熊本県鉄筋工事業協同組合 副理事長
有限会社山内工業 代表取締役

根本 勝則 様

(公社)全国鉄筋工事業協会 理事
福島県鉄筋業協同組合顧問理事
有限会社根本錦鉄筋工業所 代表取締役

ご退任役員

業界発展に全鉄筋の役員として、
長きにわたる多大なご貢献に感謝いたします。
お疲れ様でございました。

理事(常任理事) 山本 信二
愛媛県鉄筋業協同組合 理事
(株)山鐵 代表取締役

(敬称略)

組合紹介

三重県鉄筋工事組合

皆さん、こんにちは。今回は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北の長さが170km、東西の幅が80km、というとても細長い形をした「三重県」で活動しております三重県鉄筋工事組合のご紹介を致します。

よく、他県の方々とお話をする機会があるのですが、「ところで三重県ってどのへんにあるんだっけ?」「そういえば電車で通過したなあ...、あつ車で通過したよ!」「えっ!それって三重だったの!」...等々、三重県の影響が少し薄いようなコメントをよく聞くことがありますので、この機会に三重県を知って頂ければと思います。

紙面の関係上、数ある三重県の魅力の内、特に代表的なものをPRしますと、①日本人の心のふるさと【伊勢神宮】、②世界遺産に登録された【熊野古道伊勢路】、③霜降りのきめが細かく、上質な脂と甘みが特徴の、まさに高級和牛の代名詞【松阪牛】、④生でよし、焼いてよし、茹でてよし!の華やかな見た目とプリプリの食感が楽しめる【伊勢海老】、⑤F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースの開催でも有名な日本モータースポーツの聖地【鈴鹿サーキット】...などがあります。

特に伊勢神宮におきましては、20年に1度、正殿をはじめとする全ての社殿を新しく造り替え、神様に新しいお住まいへお移りいただく「式年遷宮」という日本最大級の神事が行われるのですが、本年2026年は、次回2033年(令和15年)に予定されている「第63回式年遷宮」に向けて、「お木曳(おきひき)」など、本格的な行事が動き出す記念すべき年でもあります。是非この機会に三重県にお立ち寄り頂き、美味しい食材に舌鼓を打ちながら、式年遷宮行事にも参加してみたいかがで

しょうか。

因みに三重県の県庁所在地は、日本一短い地名の「津市」であります。現在、大河ドラマ『豊臣兄弟!』で、豊臣秀吉の弟・秀長を支える重要な家臣として登場している藤堂高虎公は、実は津藩の初代藩主であります。高虎公は、江戸城や大坂城といった巨大なお城の設計にも関わった「築城のプロ」としても有名であったのですが、そんな高虎公が、自分の本拠地としてこだわり抜いて完成させたのが「津城」であります。現在はお城公園として、地域住民の憩いの場のみならず、お祭りなど様々なイベントの会場にもなっております。

そろそろ皆さんにも、三重県のイメージが湧いてきた頃かと思いますが、ここで三重県鉄筋工事組合のご紹介を致します。当組合は昭和47年4月に、中部地区鉄筋建設工業協同組合三重支部より分離独立をして設立され、現在組合員11社・賛助会員3社で活動しております。主な活動としては、新年安全祈願祭(伊勢神宮)、全員協議会(年2回)、親睦研修旅行(本年は7月に長崎県・長崎スタジアムを視察しました)、技能講習・技能試験の開催などを行っております。そして、昨年12月に施行された改正建設業法をふまえて、本年5月には全鉄筋本部より講師をお招きし、「標準見積書講習会」を三重県志摩市で開催致しました。標準労務費をベースとした価格交渉が求められることになる中で、大変有意義な講習会でありました。当組合としましては、このような貴重な機会、そして平素の会員間の情報交換・親睦などを通して、会員皆さんとともにこれからの担い手確保や技能者の処遇改善、そして更なる会員企業・組合の発展に繋げてまいりたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

三重県鉄筋工事組合
理事長 菊山浩介

各地区広報活動報告

神奈川鉄筋業協同組合

小さな手がつむぐ未来の建築「よこすか建設フェスタ」で魅せた鉄筋職人の世界

～274名の子どもたちが体感した、モノづくりの驚きと喜び～

あいにくの雨模様を吹き飛ばすような、元気な声とまぶしい笑顔。2026年6月7日、横須賀市の「長井海の手公園・ソレイユの丘」にて開催された第13回「よこすか建設フェスタ」。さまざまな建設車両や体験ブースが並ぶなか、今回が初出展となる神奈川県鉄筋業協同組合（神鉄協）のブースは、職人たちの熟練の技に触れようと集まった子どもたちで、終日大きな賑わいを見せました。



形から入る楽しさ、一瞬で「小さな鉄筋職人」へ

会場に足を運んだのは、なんと2歳から中学1年生まで、合計274名もの子どもたち。ブースに到着した子どもたちは、まず安全のためのヘルメットを被り、軍手をはめ、自分の好きな色の作業ベストを身に着けます。

さっきまでお父さんやお母さんの後ろに隠れていた子どもたちも、お揃いの衣装に身を包んだ瞬間、「かっこいい!」と目を輝かせ、気分は一気にベテランの鉄筋職人。頼もしい「仕事モード」へと表情を変え、目の前に組まれた本物の鉄筋へと向かっていきました。

職人の技に四苦八苦、最新の技術に驚嘆

体験コーナーでは、組合員たちの丁寧な指導のもと、実際の建築現場で使用される道具を使った本格的な作業に挑戦しました。

まず挑んだのは、鉄筋同士を針金（結束線）で結ぶ「結束作業」です。伝統的な道具である「ハッカー」を手に取り、手首を巧みに回して結ぶ作業に、子どもたちは真剣なまなざしで臨みます。しかし、見た目以上にコツがいるプロの技。「あれ? なかなか上手く結べないや」と四苦八苦する姿も見られました。



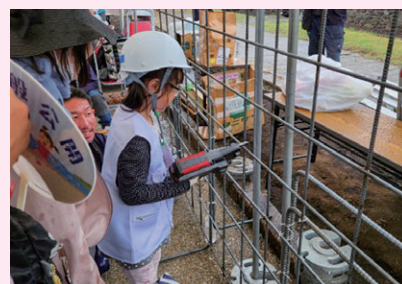
そんななか、次に体験した「自動結束機」が子どもたちに驚きを与えます。機械を鉄筋に当ててスイッチを押した瞬間、「ガシャッ」という音とともに一瞬で結束が完了。「うわあ、すごい!」「一瞬でできた!」と、あちこちから驚嘆の声が上がり、最先端技術が生み出すスピードと正確さに、子どもたちは驚きの表情を浮かべていました。コツを掴んだ子どもたちは、まるで職人のように次々と手際よく作業を進めていきました。

子どもたちの心を震わせた「手応え」

さらに、専用の工具「ライパー」を使った鉄筋の切断や曲げ加工にも挑戦。子どもの力ではびくともしない頑丈な鉄筋が、テコの原理を利用したライパーを使うことで、ググッと綺麗に曲がり、鮮やかに切断されます。その瞬間、自分の力で形を変えた手応えに、子どもたちからは思わず「やった!」と嬉しそうな歓声が沸き起こりました。

「最初は難しかったけど、うまくできた時はすごく嬉しかった!」「ものすごく楽しかった! 帰ったらお父さんやお母さんに自慢する」「また絶対やりたい!」

体験を終えた子どもたちが次々に語ってくれた言葉には、モノづくりの達成感が溢れていました。



笑顔が繋ぐ、これからの鉄筋業の未来

少し肌寒い雨の日での開催となりましたが、子どもたちの熱気と純粋な笑顔は、準備から当日のお手伝いまで奔走したスタッフ一同の心を芯から温めてくれました。

組合の想いとこれからの展望

現在、建設業界における技能者の高齢化が課題となるなか、神鉄協ではこうした子どもたちや若者に向けた広報活動・魅力発信を強化しています。今回の「よこすか建設フェスタ」への初出展で手応えを得た組合では、2027年度以降も機会があれば継続して各種イベントに職業体験コーナーを出展し、一人でも多くの次世代に“モノづくりの原点”を伝えていきたいと考えています。



山口県鉄筋工業協同組合

山口県鉄筋工業協同組合では、県内建設産業の魅力発信と担い手育成を目的に、例年多くの体験型イベントに参加し、若年層を中心に鉄筋工事の理解促進に努めています。

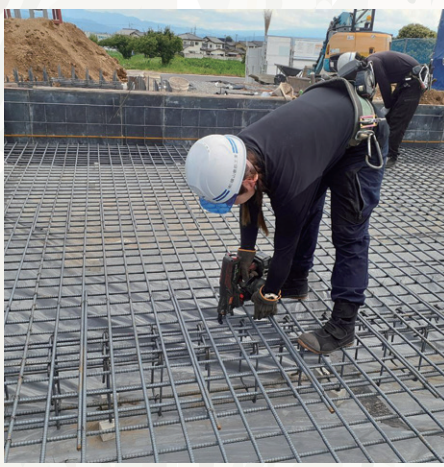
とくに6月初旬に開催される「やまぐち建設産業魅力発見フェア」では、中学生・高校生約700名が来場し、技術技能エリアと企業交流エリアに分かれて建設産業の幅広い職種に触れる機会が提供されます。鉄筋組合は、鉄筋組立体験や圧接実演、押切りや電動結束機の操作体験を実施。会場では、学生たちが真剣な表情で鉄筋を結束する姿が見られ、友人同士で声を掛け合いながら鉄筋を組み上げる場面も多く、実技を通じて鉄筋工事の奥深さを体感してもらうことができたと思います。写真にあるように、学生が鉄筋を囲み、慣れない手つきで結束線を扱う姿は非常に印象的で、体験後には「思ったより難しい」「でも楽しい」といった声が多く寄せられました。また屋外では圧接体験も行い、火花が上がる工程に多くの学生が興味深く見入っていました。保護具を身に着けた参加者が、指導員のサポートを受けながら圧接機を操作する様子は、建設現場の臨場感をそのまま伝える貴重な体験となったのではないのでしょうか。



やまぐち建設産業魅力発見フェア



やまぐち建設フェス!



Q. 自己紹介をお願いします。
長野県在住の伊東美樹です。鉄筋工を始めてから今年で12年目になります。仕事内容は主に建築の職長と図面の拾いをしています。

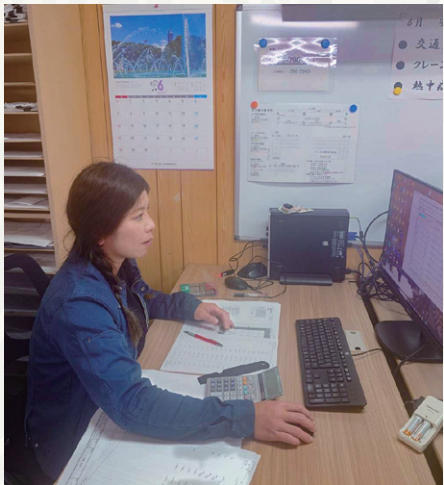
Q. どのような経緯で入社されたのですか？
元々体力があったたので体を動かす仕事がしたいと思って現在の会社に応募しました。その時は鉄筋工という仕事は全く知りませんでしたが、働いてみたらすぐおもしろいし、やりがいがある仕事だと思いました。



有限会社横山鉄筋工業
(長野県鉄筋業協会)

伊東美樹さん

M i k i I t o



Q. 男性技能者と体力面や待遇面で差を感じることはありましたか？
男性とは体力面では劣る事もありますが、同じように仕事が出来るように家で図面を見たり段取りの仕方を考えたり努力しました。入社当初から社長は男性社員と同じ扱いで私を指導してくれました。

Q. 結婚後、仕事との両立で大変だと思うことはありましたか？
私の夫も建設業界で働いているので、仕事内容が大変な事も理解してくれているので今は二人で協力して生活しています。今後子供が生まれた時は夫の協力だけでは難しいと思うので会社や周りの人の協力が必要な仕事だと思っています。

Q. TETSU-UGRANプリへの出場のきっかけと、出場後の変化はありましたか？
第1回TETSU-UGRANプリを見に行った時から私も出てみたいと思っていました。そして第4回の長野県の予選大会で1位になり出場する事が出来ました。応援して下さった方々にキレイに組めたたと言われた時はうれしかったです。

Q. 女性技能者が今後活躍するために必要な環境や課題等はあると思いますか？
また、貴社の女性技能者に対する環境は恵まれていると思いますか？

鉄筋基礎(7) 入校式



開催日：2026年4月13日(月)
場所：大原学園
参加者数：28名



國井委員長



加賀美専務理事

全国女性技能者懇談会 開催について

懇談会：つながろう女性鉄筋工の和
日時：令和9年2月5日(金)
15:00～
集合：山口グランドホテル
3階「末広」
住所：〒754-0021
山口県山口市小郡黄金町1-1

最近行った現場なのですが休憩所がいっぱいで、男性だらけの中でお昼ごはんを食べた事は大変でした。女性専用の設備は難しいと思いますが、一角に仕切りで女性が安心して休憩出来るスペースを作ってほしいと思いました。会社の内でもみんな仲が良かったり、女性扱いはせず、一人の職人として対応してくれるので環境は恵まれていると思います。

新プロジェクト

鉄筋業界の未来を創る!

「鉄筋みらい発信室」始動!

公式Instagram
はこちら

**鉄筋みらい
発信室**

全国の会員の皆様、このたび広報委員会の中に、待望の新プロジェクト「鉄筋みらい発信室」が立ち上がりました！本発信室の目的は、全鉄筋公式Instagram等のデジタルメディアを活用し、これまで一般に届きにくかった「鉄筋工の本当のカッコよさ」や「職人のリアルなプロの技術」を、これからの未来を担う若い世代へダイレクトに届けることです。職人の一日密着動画や、現場のやりがい、知られざるトリビアなど、王道でありながら未来志向の魅力的なコンテンツを発信し、**業界のイメージアップと若手入職者の増加(採用支援)**を強力に後押ししていきます。

皆様の「生の声」や「カッコいい写真・動画」をぜひ事務局までお寄せください。

一緒に新しい未来を発信していきましょう!

COOL!

@TEKKIN_MIRAI

編集後記

創業者と共にこの業界を歩み始めて47年になります。当初は借りた空き地に加工機を置き、二人でせっせと鉄筋を加工する毎日でした。大切な機械と材料を守るため、歯を食いしばって屋根のある工場を建てた日の喜びと覚悟は、今でも鮮明に覚えています。

しかし昨今の気候変動により、その工場は猛暑のたびに室温が42度まで上昇するようになりました。スタッフはまるで湯船の中で作業をしている状態です。スポットクーラーや空調服などあらゆる手を尽くしていますが、気休めにしきれません。夏が来るたび「誰か辞めるのではないか」と不安がよぎり、大切なパートナりの外国人労働者も、同じ給与水準なら空調のある他業界へ流れるのが現実です。

業界内でも代替わりが進み、一から設備投資の苦労を経験した経営者も少なくなっているのかもしれない。本来であれば、加工や取付で適正な利益を出し、それを未来の設備へ投資していくべきですが、現実には専門工事業としての単価の壁に阻まれています。工場全体の空調整備やロボット導入など夢のまた夢で、大半が「今の現状を生き抜くのがやっと」という状態ではないでしょうか。

これでは「子どもたちに胸を張っておすすめる仕事」とは到底言えません。しかし、だからといってこのまま諦めるわけにはいきません。目下、当社では今年「工場内マイナスイオン5度」を目指し、環境改善に向けた新たな取り組みを進めているところです。

次世代が「働きたい」と思える魅力的な業界へと変革していく挑戦を、皆様と共に続けていきたいと強く願っております。

編集委員

委員長

岑 直樹(宮城)

副委員長

宮本ゆり子(山口)

木浪 裕子(北海道)

矢竹 直司(東鉄協)

大港 成人(鉄工協)

工藤 桂一(神奈川)

女性活躍推進(兼任除く)

皆川 則子(北海道)

斎藤 淑江(東鉄協)

駒井 真里(神奈川)

松本 勝静(岡)

田中 毅(関西)

赤澤 栄徳(香川)

汐田 洋福(岡)

斎藤 淑江